

O F F S H O R E

To Vietnam

オフショア開発事例と
開発のポイント

→ DEVELOPMENT

会社概要

商号
CMC Japan株式会社



代表
代表取締役社長 グエン・テイ・トウ・ハン

事業内容
ITアウトソーシングサービス

資本金
8,773万円(CMC Japan単体)

設立
2017年8月17日

所在地
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい
3丁目7番1号 オーシャンゲートみなとみらい8階

オフショア開発 (offshore development) とは	01
オフショア開発が注目される理由	02-04
オフショア開発のメリット	05
開発事例①大手SIer	06-09
開発事例②中堅SIer	10-13
2つの事例のまとめ	14

オフショア開発 (offshore development) とは

システム・アプリ開発や、システム運用・保守などの業務を海外の開発企業にアウトソースすることです。

オフショア開発の主な目的は、

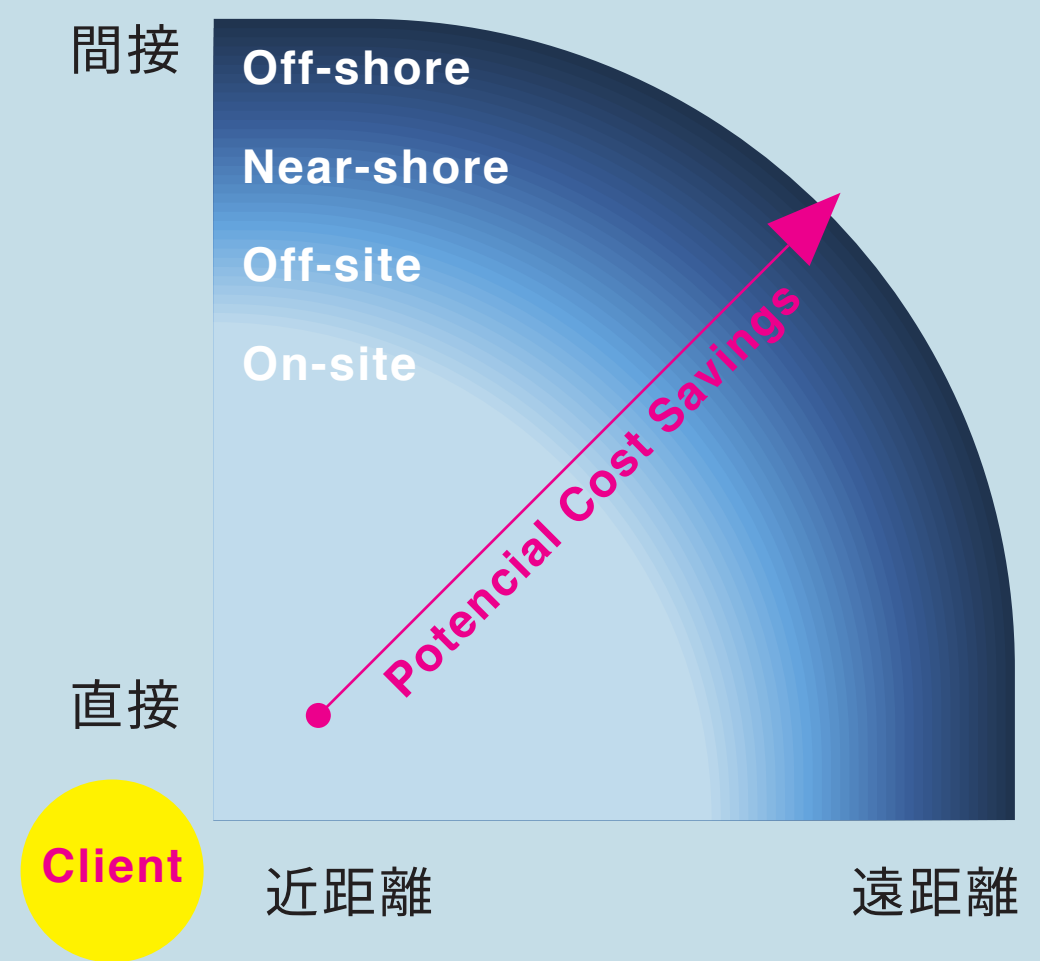
発注側(日本)と受注側(海外)の経済的格差によって生じるコストメリットにあります。

委託する主な業務

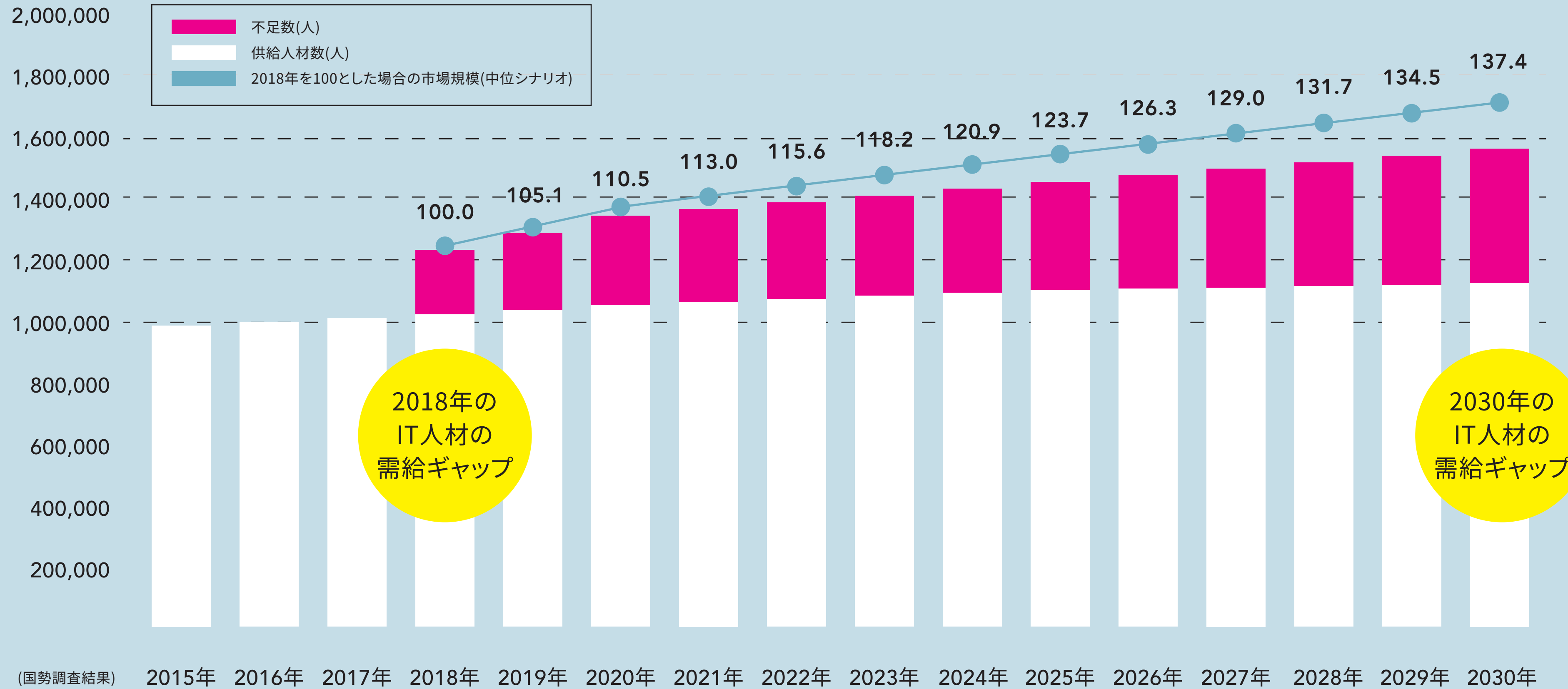
- ・システム・ソフトウェア開発
- ・開発後の運用保守 + 新規開発

近年では...

開発業務以外にもデータ入力やコールセンター業務など
(BPO=Business Process Outsourcing)

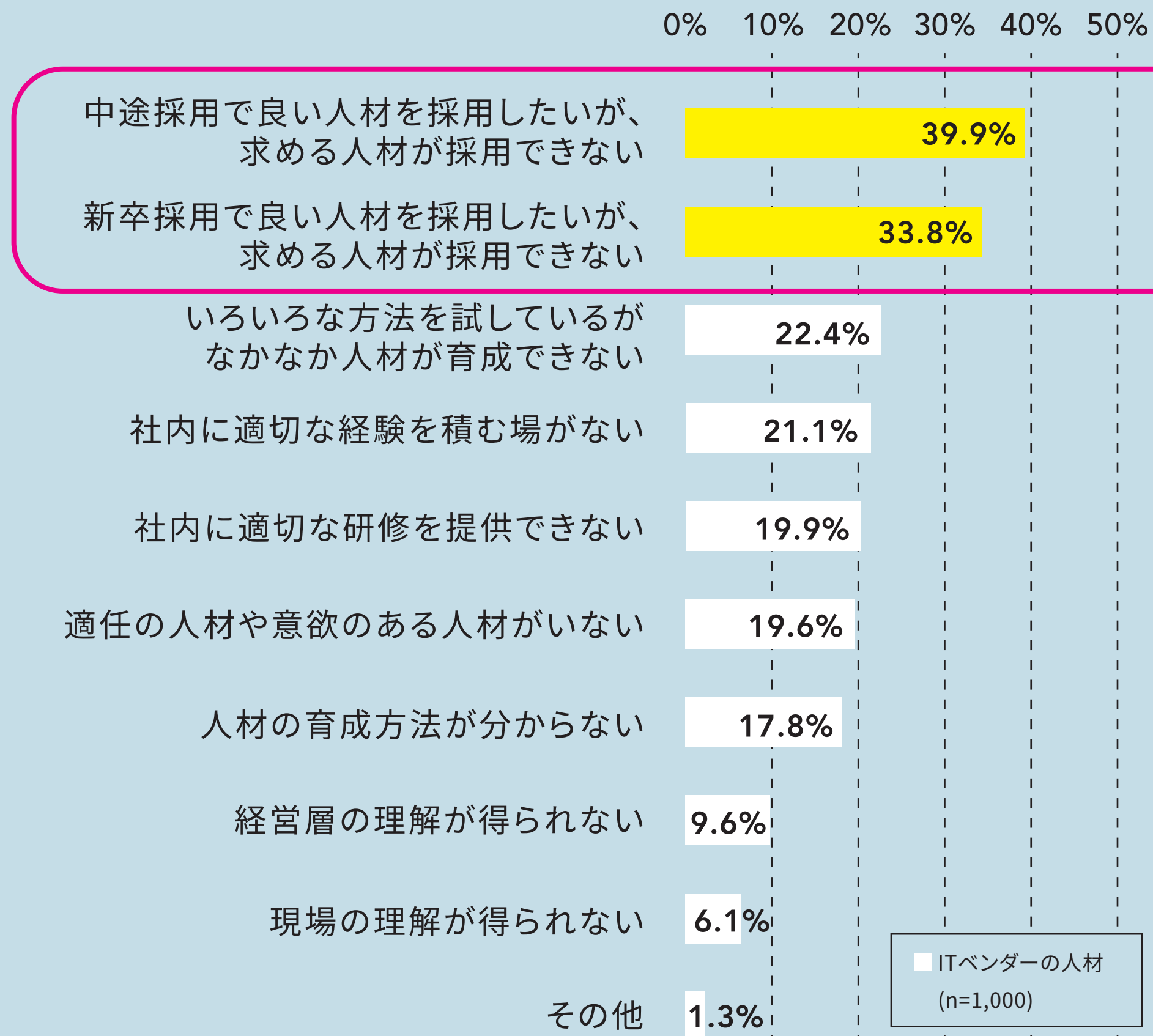


オフショア開発が注目される理由



オフショア開発が注目される理由

ITベンダーにおける人材育成の課題



(出典:IT関連産業の給与などに関する実態調査結果2019)

現状においても、

中途/新卒採用で良い人材を採用したいが、求める人材が採用できない

というITベンダーの割合は高く、採用活動において自社が求める人材を思うように採用できないことは、大きな課題となっています。

オフショア開発が注目される理由

IT人材の高齢化

若年層の人口減少に伴って、
2019年をピークに
**IT関連産業への入職者は退職者を下回り、
IT人材は減少に向かう**
と予想されています。
また、IT人材の平均年齢は
**2030年まで上昇の一途をたどり、
高齢化が進展する**
ことも予想されています。

IT人材の不足

IT需要予測から推計される
IT人材需要との需給ギャップから
2030年までのIT人材の不足数を推計すると、
労働集約業態となっている
日本のIT人材の低生産性を前提とすれば、
将来的に40～80万人の規模で不足が生じる
懸念があることも試算されました。

オフショア開発のメリット



コスト削減

物価の差によるコストメリット

ベトナムの物価は
日本の3分1程度

※都市によって若干の差あり
(ハノイ、ダナン、ホーチミン)



優秀かつ親日な人材

情報技術を大学で専門に学んだ
若いエンジニア

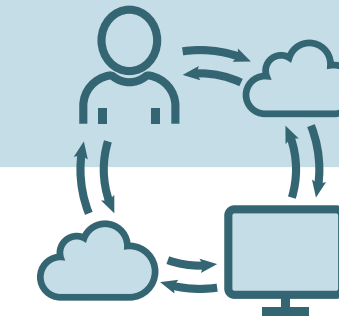
STEM教育に力を入れる
ベトナム政府と
日本文化を通じて
親日な国民性



専属チームを編成

フルコミットの
固定チームを確保

日本人の採用予算規模で、
10人月のスケールが可能



持続可能なリソース供給

外部リスク要因に適応出来る
リソース体制

コロナ禍/
日本の労働人口減少



自社のグローバル化

ダイバーシティ化の
一環

自社の社員との人事交流や
現地トレーニングなども
視野に



開発事例① 大手SIer

AIを用いた データ解析アプリケーションの開発

開発事例① 大手SIer ~基本情報~

基本情報

大手SIer
従業員数: ~500名

オフショア開発の利用背景

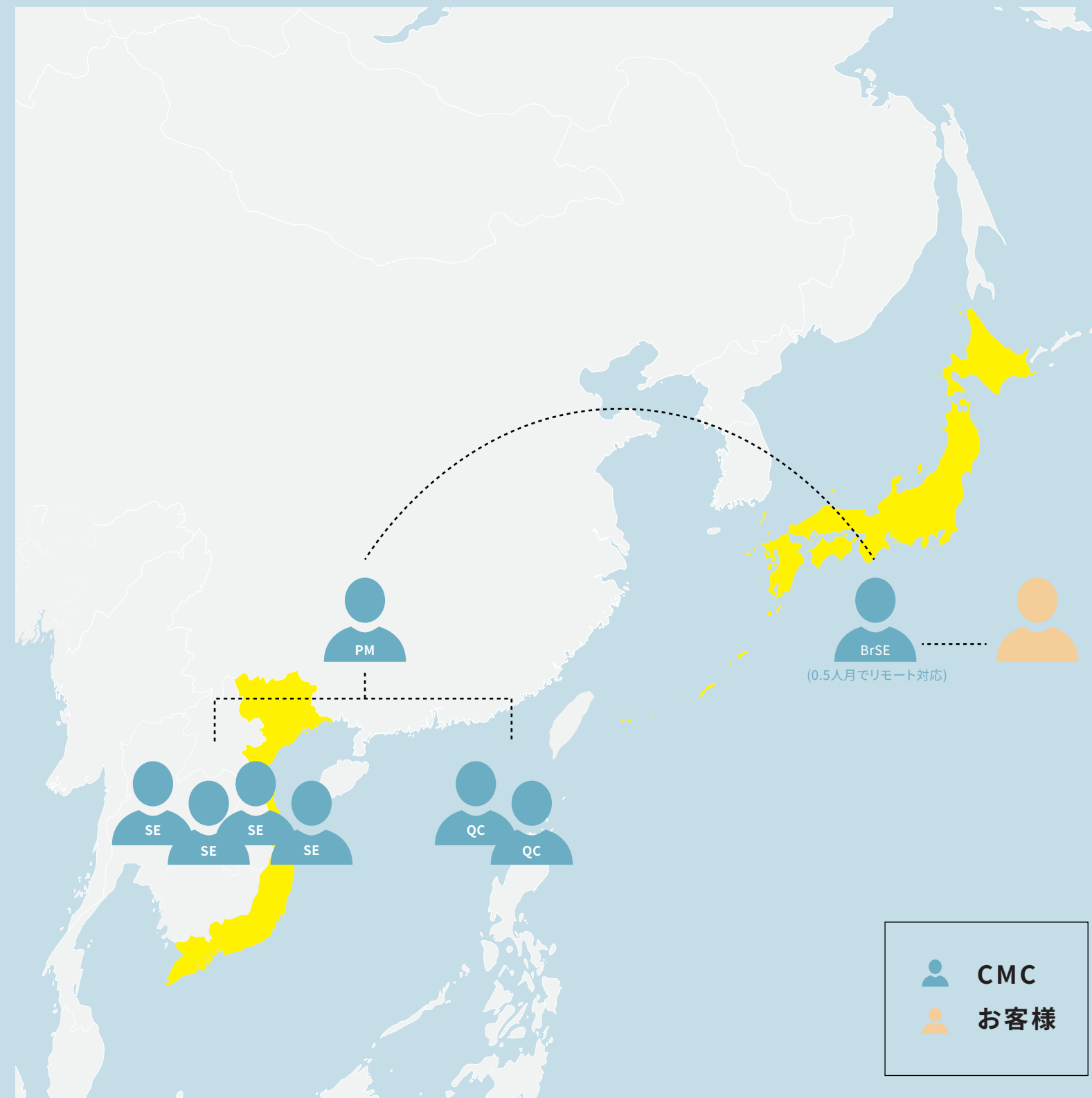
コストメリット

サービスの利用形態

PoCからスタート



開発事例① 大手SIer ~プロジェクト体制~



ブリッジSE*をお客様の傍に置き、オフショア側と連携。
オフショア側ではPMがプロジェクトを管理します。

この仕組みによって

ブリッジSEのオーバーロードを防ぎ、
プロジェクトの成功に不可欠な
コミュニケーションの質を上げます。

※ブリッジSEとは、システム開発の一部を海外で行うオフショア開発によるプロジェクトを円滑に進めるために橋渡しをするシステムエンジニアのこと。

開発事例① 大手SIer ~開発概要と成果~

テクノロジー

Azure, Python, Docker, etc...

メソドロジー

スクラム開発
(1スプリント=2週間)

対応モデル

ブリッジSEモデル

契約形態

請負

当社提供リソース

7人月(オフショア人員)

期間

3.5ヶ月

当社対応フェーズ

要件定義、基本・詳細設計、開発、テスト、リリース

成果

日本国内ベンダー発注に比べ

60%のコスト削減

AIの案件以外でも、IoTの案件もご支援



開発事例② 中堅SIer

不動産(マンション)
ポータルサイトのバックエンド開発



開発事例② 中堅SIer ~基本情報~

基本情報

中堅SIer

従業員数:~50名

オフショア開発の利用背景

人材不足による開発スピードの課題

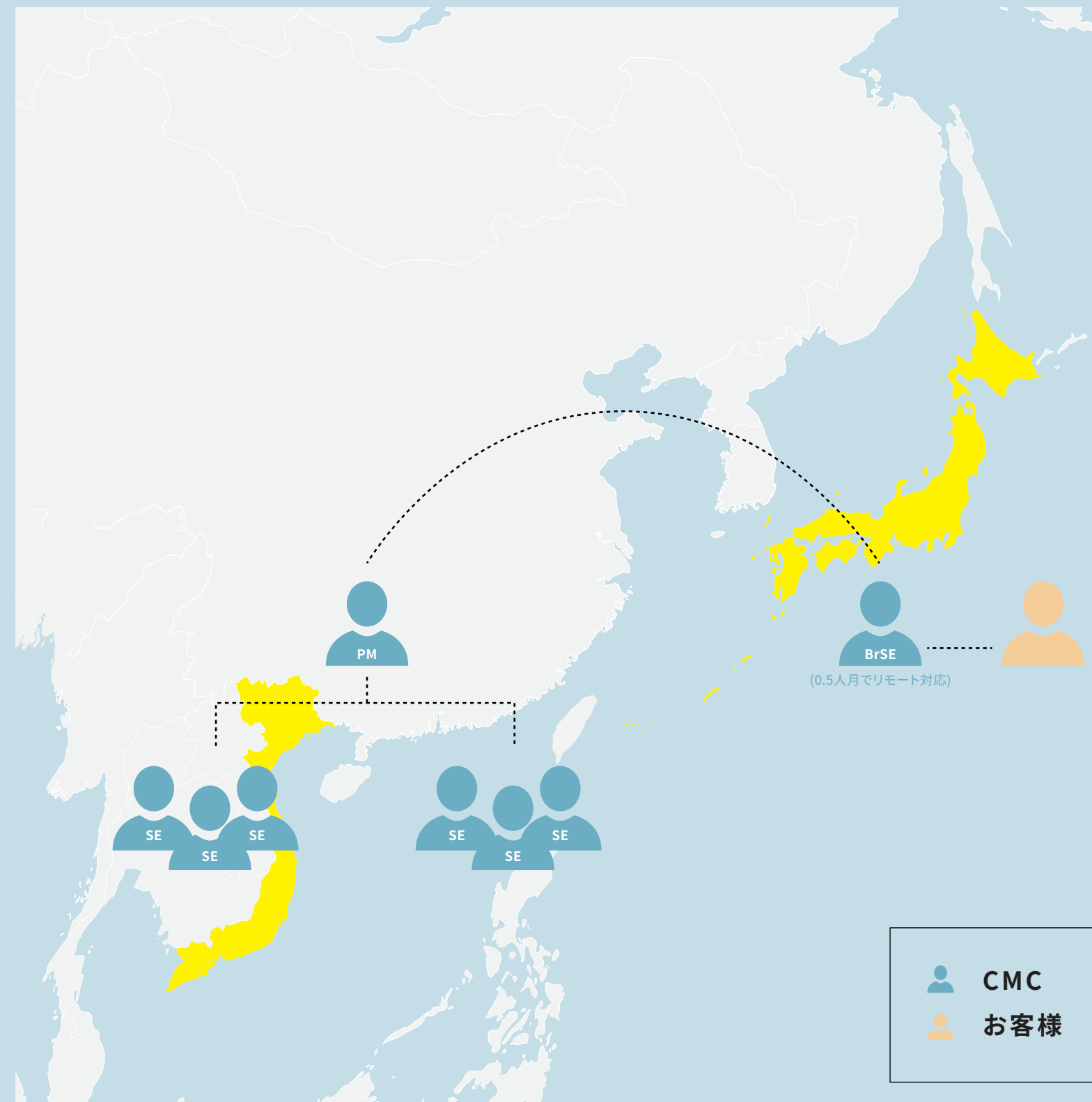
→自社の人材を上流工程に専念させたい

サービスの利用形態

PoCやトライアルはせず、本案件を利用



開発事例② 大手SIer ~プロジェクト体制~



事例①同様に
ブリッジSEをお客様の傍に置き、オフショア側と連携。

オフショア側ではPMがプロジェクトを管理します。

基本設計から
参画しリリースまで担当

仕様変更へのスムーズな対応や、
品質向上を実現するため**設計段階からご支援**

開発事例② 中堅SIer ~開発概要と成果~

テクノロジー
PHP

メソドロジー
ウォーターフォール

対応モデル
ブリッジSEモデル

契約形態
請負

当社提供リソース
7人月(オフショア人員)

期間
1.5ヶ月

当社対応フェーズ
基本・詳細設計、開発、テスト、リリース

成果

リソース不足を克服し
開発期間を

3ヶ月→1.5ヶ月

に短縮

2つの事例のまとめ

どちらも7人月規模の人材を確保することによって、
オフショア開発の特長でもある**コストメリット**を出すことに成功しています！

① 大手SIerの場合

PoCからスタート
↓
上流工程から担当

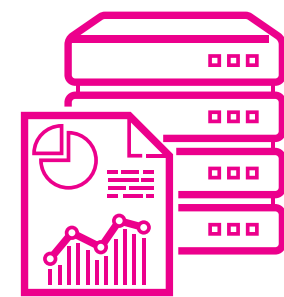
② 中堅SIerの場合

オフショア開発利用が初めて
↓
難易度の高い上流工程からではなく
下流工程から担当

オフショア開発を使うといっても一様な切り出し方ではなく、
お客様のご状況や解決したい課題に応じて、体制を構築し、
中長期的な観点をもって、開発プロセスの最適化をしていくことが大切だと考えております。



お問い合わせフォーム



その他資料請求フォーム



おすすめ記事

THANK YOU FOR READING!

